

あなたの家族は大丈夫？ スマホを安全に使うために



スマートフォン（スマホ）の普及が進み、日々の買い物などの支払いや公共交通機関の運賃決済など、私たちの生活が便利になる一方、トラブルも増えています。

今回は、スマホ利用のトラブルのほか、安全に使うためのポイントを紹介します。

● 問い合わせ

「子どものスマホの使い方やトラブルに関する相談」

学校教育課 ☎23-9544

「スマホの詐欺被害や身に覚えのない請求などの相談」

都市消費生活センター

☎23-7154

「スマホ利用に潜む「危険性」

多機能で使い勝手の良いスマホは、小・中学生の子どもたちにも利用が広がっています。

その一方で、詐欺被害や個人情報の漏えいなどトラブルが多発しています。

さまざまなトラブルが頻発

トラブルに巻き込まれないよう、利用意識を高めましょう。

- **メッセージアプリやSNSでのトラブル**
誹謗中傷するメッセージが送り付けられたり、インターネット上に実名を挙げて悪口を書き込まれたりした。

- **「なりすまし」によるトラブル**
アプリやSNSで子どもに成り済ました大人と知り合い、裸の画像の提供を強要され、送ってしまった。
- **友人とのトラブル**
SNSなど友人間のやり取りのトラブルから、ネット上でいじめに発展してしまった。

● 情報発信によるトラブル

ふざけて投稿した動画などが非難され、自分や家族の名前、顔写真などがインターネット上で公開された。

● ゲームアプリでの課金トラブル

有料・無料の区別のあるゲームアプリで、無料の範囲を超えてしまい、繰り返し有料アイテムを購入。翌月、多額の利用料が請求された。

決めよう！ 家庭のルール

家族で話し合いながら、スマホの使い方のルールを決めましょう。

- 使っている時間や場所、タイムゾーンを意識する
- 利用できる時間帯を決めておく
- 個人情報や個人が特定されるようなデータ、画像は安易に公開したり、書き込んだりしない
- SNSのやり取りなど、言葉の表裏に注意する
- 友だちや有名人などの悪口を書き込まない
- 身に覚えのない請求があったときは、相談機関へ連絡する
- 子どものスマホには、フィルタリングを設定し、利用を制限する



SNS時代、ここに注意



インターネット上にあふれる情報に振り回されることなく、被害者にも加害者にもならないよう、次の4つのポイントを押さえてみましょう。

● 即断しない

初めて聞く情報に出会ったら、本音かどうか「まだ分からない」と、情報を一旦止めましょう。

● うのみにしない

多くの情報は、事実描写のほかに、発信する人の意見や印象などが混じって伝わってきます。事実と、意見や印象の部分をしっかりと分ける必要があります。

● 片寄らない

1つの見方や考え方にとらわれずに、違う立場から情報を考えることが大切です。同じ情報でも、見方を変えるだけで、全く違う姿で見えてきます。

● 見えている情報だけが全てではない

さまざまなところに飛び交う情報は、スポットライトを当てて選ばれた情報のやり取りです。見えている情報だけが全てだと思いつつ、差別や偏見につながることもあります。他の情報源を探したりするが必要です。